

1 事業情報

水道事業評価(令和3年度)

担当課

料金課

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施策	6-1 財政基盤の強化	事業	6-1-2 収納率の向上
----------	----	------	-----------	----	-------------	----	--------------

2 事業評価の概要

項目	内容						
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。						
事業目的	財政基盤を強化するとともに、料金負担の公平性を確保するため、収納率の向上を図ります。						
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・収納率向上や債権管理の適正化のため、水道料金支払いにおけるキャッシュレス決済を推進します。 ・現年度収納率の維持及び過年度収納率の向上が図られているか検証します。 						
期間	令和3年4月 ~ 令和4年3月						
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出
	事業費計	99	99	0	0	0	0
	工事費	0	0		0	0	
	原材料費	0	0		0	0	
	委託料	0	0		0	0	
	賃借料	0	0		0	0	
	その他	99	99		0	0	0%
人件費	1,185			1,185		100%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	0%		
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替促進のため、令和2年度から実施している口座振替割引を継続しているほか、水道料金等支払いのキャッシュレス化に取り組んでいます。 ・現年度収納率は77.62%、過年度収納率は92.93%(8月末時点)であり、昨年度同期(現年度77.57%、過年度88.90%)と比較したところ、現年度分、過年度ともに向上しました。 			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード決済をはじめとした、水道料金等支払いのキャッシュレス化を促進しました。 ・今年度から、弁護士法人による未収金回収業務委託を開始したことに加え、悪質な滞納者に対しては顧問弁護士や警察と連携し、毅然とした対応をしています。 ・上記取り組みにより、現年度収納率は91.39%、過年度収納率は94.89%であり、昨年度実績(現年度89.57%、過年度93.94%)と比較したところ、現年度分、過年度ともに向上し、過去最高となりました。 		
事業達成度	A 予定以上の成果を上げた		
事業達成度C~Eの理由			

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	収納に占める口座振替利用率	単位	%	目標値	66.56	67.06	—	
算出式・根拠	(現年度口座収納件数/現年度総収納件数)			実績値	64.30	64.39		
指標名	収納に占めるキャッシュレス決済利用率	単位	%	目標値	—	—	69.00	
算出式・根拠	(現年度キャッシュレス決済による収納件数/現年度総収納件数)			実績値			69.44	
指標名	過年度収納率	単位	%	目標値	89.50	89.60	93.05	
算出式・根拠	(過年度収納額/過年度調定額)			実績値	92.29	93.94	94.89	
指標名								
算出式・根拠								

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	A 予定以上でできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりでできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	A 予定以上でできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりでできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
A 予定以上の成果を上げた	債権管理の適正化やお客サービス向上のため、キャッシュレス決済を推進します。今後も様々な方策を用い、水道事業の原資となる水道料金の収納率向上につなげていきます。	現状維持で継続